

★平戸市民病院



2014年10月の平戸市民病院での研修は、研修医3人(長崎大学病院 三瀧、横浜労災病院 柴宮、北里

大学病院 白川)で回らせていただきました。

外来や訪問診療では日々経験する症例や年齢の幅広さに驚きながら、幅広い知識と経験の重要性を改めて感じました。この地域で行われている院外での医療の一つに訪問診療があります。その場での採血・画像評価等ができないため、幅広い知識と経験、それを活かした診察、コミュニケーションが訪問診療という医療を支えています。

多くの患者様とそのご家族、平戸市民病院の医師、看護師、その他コメディカルの方々と接することで、多くのことを学び、吸収した1か月でした。この出会い、経験を忘れることなく、それぞれの研修先でも最善の医療を提供できるよう日々精進していきたいと思えます。地域医療として貴重な1か月間を経験させていただき、ありがとうございました。

白川 裕基(北里大学病院)

三瀧 正秀(長崎大学病院)

柴宮 明日香(横浜労災病院)

★生月病院

一か月間生月病院で研修させていただきました。研修では、外来・病棟はもちろん、往診・健診・施設回診など今までに経験したことのない業務まで経験させていただきました。病気を治すことだけが医療ではなく、病気になるのを未然に防いだり、家族背景を考慮し一人一人に合わせた医療を提供する大切さを学びました。地域医療では人手不足が深刻ですが、その分職種を超えて協力し合っており、今回の研修中にも先生方始め、看護師さん、技師さん、事務の方々に非常にお世話になりました。一か月間非常に有意義な研修になりました。ありがとうございました。



土屋 学
(静岡済生会総合病院)

熊谷 友里
(神鋼病院)

★青洲会病院

青洲会病院に来てまず1番の感想は、医局の窓から見える平戸大橋や海を挟んでの平戸市街の景色が最高だということでした。医局からだけでなく、リハ室、病室もすべて大きな窓を持つオーシャンビューのお部屋で、病院全体の雰囲気がとても良かったです。

1ヶ月の間に大島、度島、鷹島の離島研修や、訪問看護に訪問リハビリなど普段の勤務ではできない体験を通じて、急性期を終えた後の患者さんの生活を少しは学べたと思います。脳梗塞になった75才の漁師さんがリハビリを経てまた海にもどったり、80才の牛を育てている方が心筋梗塞で一時は寝たきりになっても復活して牛の優秀賞をとっていたり、みなさん様々なドラマがあつてとても楽しかったです。私はここで研修をするまで、へき地医療はイメージだけでかなり悲惨なものばかり思っていました。都会に比べると、近所付き合いも多く親族も近くにいて住み慣れた場所にいる田舎の高齢者の方が幸せかもなあと感じました。

一ヶ月間貴重な経験をさせて頂き本当にありがとうございました。

松谷 歩

(姫路聖マリア病院)



★柿添病院

柿添病院での地域研修では訪問診療、リハビリなどを通して急性期のみならず回復期、慢性期の医療を経験させていただきました。保育所検診、健康診断にも携わらせていただき予防医学という側面に関しても学ぶことが多い1ヶ月間でした。患者さん、家族、医療者の関係が非常に密で、地域医療とは本当に地域に根付いたものであると肌で感じる事ができました。地域にいなながらも遜色ない最善の医療を提供し、疾病の予防、治療、回復までと地域の医療を担っていくことの重要性、責務を少しだけですが感じることができました。研修を通してお世話になった多くの方々本当にありがとうございました。

柏原 宗一郎

(九州中央病院)

